※施工される方へお願い：必ず本書を御施主様へお渡しください。

2014.09

壁厚サニタリー収納

Sanita サニタ

トイレ収納ボックス

取扱説明書

必ずお読みください

南海プライウッド株式会社

本社　〒760-0067　香川県高松市松福町1-15-10

北海道・東北営業グループ	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
関東甲信越営業グループ	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
首都圏営業グループ	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
中部営業グループ	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
近畿営業グループ	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
中四国営業グループ	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
九州営業グループ	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業グループ	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669
新規需要開拓グループ	TEL(087)825-3631	FAX(087)825-3659

■ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。
間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず取り扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。
■お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、説明しています。

⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害（※）を負うことが想定される危害・損害の程度を示す。 （※）傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ、などをさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

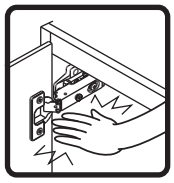
⃠	「してはいけない」を示します。
❗	「必ず行なっていただくこと」を示します。

⚠注意

⃠

● 製品にのったり、ぶら下がったりしない。

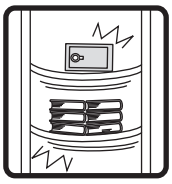
扉や棚板、パイプにのったり、ぶら下がったりしないでください。破損・落下してケガをするおそれがあります。



● 丁番などの可動部には手を入れない。

丁番などの可動部や扉と側板の間には手や指を入れないでください。指をはさんでケガをするおそれがあります。
小さなお子様には充分ご注意ください。

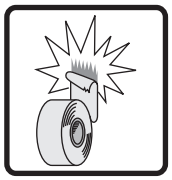
❗



● 耐荷重の目安値よりも重いものをのせない。

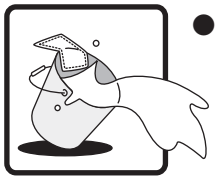
重量物をのせると、棚板やパイプが変形・破損・落下し、ケガをするおそれがあります。
（裏面「耐荷重の目安値」をご参照ください。）

ご使用上のお願い



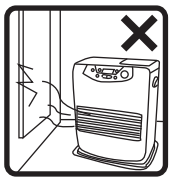
● 粘着テープ（養生テープ・セロハンテープ・シール等）は貼らない。

製品に粘着テープ（養生テープ・セロハンテープ・シール等）を貼らないでください。
表面化粧がはがれるおそれがあります。



● 製品に直接水をかけない。

製品に直接水をかけないでください。表面化粧のはがれや反りの原因となります。



● 暖房器具などを近づけない。

暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。
反り・割れ・変色の原因になります。

お手入れ

● 日常のお手入れ方法

乾いた柔らかい布で乾拭きします。

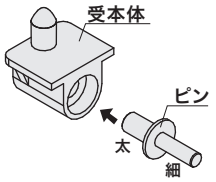
● 汚れがひどい場合

中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ堅く絞って拭き取り、よく乾燥させます。

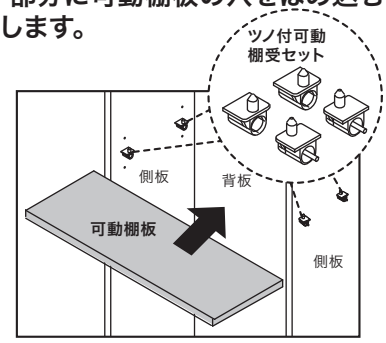
可動棚板の取り付け・取り外し

可動棚板は取り外し可能です。取り付ける際はツノ付可動棚受セットの受本体にピンを差し込み、ボックスのダボ穴に取り付けます。棚受のツノ部分に可動棚板の穴をはめ込むように設置します。また、取り外す際は可動棚板を外し、ツノ付可動棚受セットを取り外します。

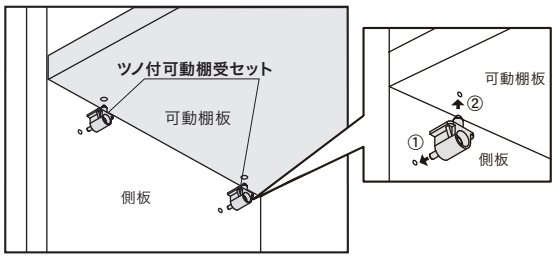
ツノ付可動棚受セット



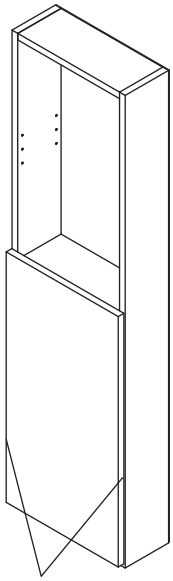
※受本体のツノから遠い方の穴にピンの太い側を差し込みます。



ご注意
使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。



扉の調整方法

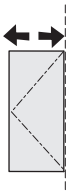


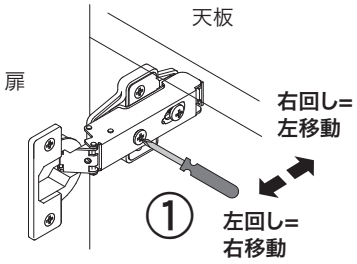
左右のちりを均等にする。

ご注意
扉の調整後必ず2〜3回開閉し、扉が確実についていることをご確認ください。

扉の左右の位置を調節

①のネジを右に回すと扉が正面から見て左に移動し、左に回すと右に移動します

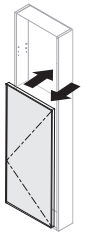


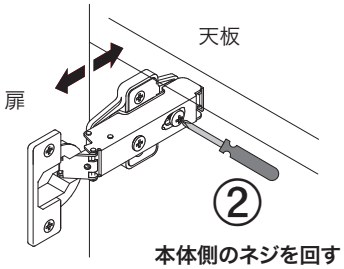


扉側のネジを回す

扉とボックスの隙間を調節

②のネジをゆるめ扉を前後に動かして調節し、適正な位置で締め直して固定。

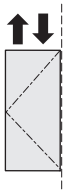


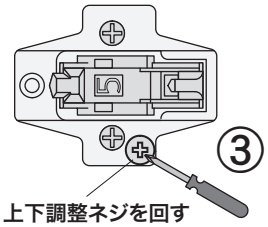


本体側のネジを回す

扉の上下を調節

座金にある③のネジをゆるめ扉を上下に動かして調節し適正な位置で締め直して固定する。





上下調整ネジを回す

耐荷重の目安値

下記は耐荷重の目安値であり保証値ではありません。

本体	全体の耐荷重の目安値
Sタイプ	**15kg**
Mタイプ	**20kg**
Lタイプ	**30kg**

パーツ	耐荷重の目安値
可動棚板・固定棚板	**5kg**